

(一社) 日本道路建設業協会
沖縄支部

支部だより

平成 27 年
10月5日(月)
第 50 号

会員だより

まわりの皆様へありがとう！

会員の皆様 こんにちは、弊社にて 4 月に完了した沖縄環状線舗装工事（H26-4）（ライカム交差点舗装）について紹介します。沖縄環状線は沖縄市の市街地を循環する全線 17.8 km の道路で 1973 年に事業に着手してから 42 年、今回の工事完了をもって全線開通となりました。現場は交通量が多く、深夜でも交通が途切れない状況の中、メディアでも注目をあびた「イオンモール沖縄ライカム」の工事及び周辺工事も並行して進む大変な状態でした。舗装総面積 27000 m² を工期内に「無事故・無災害」で完了させる事を目標に掲げ、発注者、社員一同、協力会社と、一致団結し、奮闘してまいりました。現場代理人としてはまだまだ経験は浅い私でしたが、経験豊富な先輩方の指導のもと、県内でも主要とされる交差点の難工事を経験でき、目標を達成できた事を誇りに思います。これからも、若手社員として、会社のため社会の為に役立っていきたく思います。近くで工事を担当した皆様、大変お世話になりました。

【現場代理人 玉城 哲也】

沖縄道路 株式会社
代表取締役社長 宮里 三男



完成後のライカム交差点！ライカム（Rycom）は、かつての琉球米軍司令部（Ryukyu Command headquarters）の略称

会員だより

防災について考える、非常時の備えを！

去った 9 月 1 日は「防災の日」でした。1923 年 9 月 1 日に関東大震災が発生したことから、1960 年にこの日が防災の日として制定されました。今回は防災について少し考えてみました。

国交省の資料によると、世界で発生するマグニチュード 6 以上の地震の約 2 割が日本周辺で発生しています。また、諸外国に比べて河川が短く急勾配のため川は急流となり、その河川水位より低い場所に居住地が広がっているため、甚大な被害が起こる危険性が高いのです。ここ数年、台風や集中豪雨、ピンポイントで突発するゲリラ豪雨など、水による災害が「想定」を遙かに超えた重大さで多発しています。水害は瞬時に襲ってくるものではありませんので、備えと対策によって被害を軽くする猶予があるともいえます。

災害時、建設会社はインフラ復旧ほか幅広い活動を社会から期待されます。優先業務の継続を図るため、BCP（事業継続計画）を策定している企業も多いと思いますが、職場だけではなく、家庭や個人でも危機意識をもって備えておくことが重要だと思います。

日頃から家族で安否確認の方法や避難場所を確

大林道路 株式会社
沖縄営業所長 垣内 信介

認したり、非常用備品の備蓄や管理、処方薬を服用している人は予備で持ち歩く、職場では個人的にも飲料水や飴、スニーカーなどを用意しておく

と安心です。また、家具の固定、安全空間・安全通路の確保、ガラス窓に飛散防止フィルムを貼る、周辺の雨水桝の清掃・点検、床上浸水が心配される時は土嚢（どのお）の代用としてゴミ袋で「水のう」を作って利用する、重要な書類や家財道具を高い場所へ上げる、車を安全な場所へ移動する等、被害を少しでも小さくするための対策が大切です。

災害は、まさに忘れた時にやってきます。年に 1 度、防災意識を思い起こして再確認してみましょう。

close

【総務 美里 姿子】



非常時に備え、必要なものを常備しましょう！

活動報告・トピックス



①平成27年度 南・北両国道事務所と道建協沖縄支部との意見交換会

円滑施工を推進、課題の解決に向け意見交換！

（一社）日本道路建設業協会沖縄支部では、9 月 8 日（火）宜野湾市のカルチャーリゾートフェスターネで平成 27 年度南・北両国道事務所と道路建設意見交換会を開催しました。意見交換会には会員 29 社 34 名が参加しました。大濱支部長は「両国道事務所との意見交換は発注者と施工者が施工実地における問題を解決していく上で、極めて有効である。国からの時宜を得た指導、助言は必要であり、それぞれの立場から忌憚のない意見交換をお願いしたい」と挨拶しました。

喜舎場北部国道事務所長は、「多岐にわたる提案議題から現場の難しい点を読み取れる」とし課題解決に発注者として応えていきたいと挨拶しました。上原南部国道事務所長は、「現場の技術力が道路整備を支えていく、そのためには応分の利益を確保することが業界の健全な発展に資することになる」と挨拶しました。



会場風景、開催の挨拶をする大濱支部長！



喜舎場北部国道事務所長の挨拶

上原南部国道事務所長の挨拶

道建協沖縄支部からは、事故等の安全管理上の扱いについて、曖昧な場面で明確なガイドラインを示して欲しい、また、工事着工前に支障物件の協議が十分でない、時間がかかりすぎるなどの意見が出されました。国道事務所からはガイドラインはないが、小さな事でも疑問があれば即座に相談して欲しいと話し、現場の調整不足については、現場状況を反映した設計をすべきだが、現地で設

今月の予定

①第 3 回技術・積算委員会 支部会議室
10 月 2 日（火）11：00～13：00

②第 110 回 道路美化・清掃活動
10 月 20 日（火）10：00～ 国道 58 号、331 号

③第 2 回常任幹事会 支部会議室
10 月 27 日（火）12：00～13：30

計コンサルタントと合同調査をし結果を反映させるなどと回答しました。他にも、支部からは業界の実情を踏まえた発言があるなど、最後まで活発な意見が交わされ閉会となりました。

意見交換会終了後に懇談会が行われ、當山南部国道事務所副所長の乾杯で幕開けし、会員各位と懇親を深めながら懇談会は盛会のうちに終了しました。懇談会に先立ち、日本道路協会道路功労者表彰の伝達式が行われ、平成 27 年度の道路功労者として知念一男氏（株）屋部土建）、宮城正男氏（株）第一三興建設）、久場良博氏（株）大寛組）の 3 氏に表彰状と記念品が授与されました。



大濱支部長から表彰状を授与される知念一男氏、宮城正男氏、久場良博氏（左から）

②第109回 道路美化・清掃活動

秋晴れ、さわやかにボランティア！

第 109 回ボランティア活動を 9 月 15 日（火）15 社 19 名の参加で実施しました。今日は清々しい天気となり、作業には申し分のない一日でした。

ところで、今日 9 月 15 日は「老人の日」で 21 日までが「老人週間」となります。しかし、祝日は祝日法改正によるハッピーマンデー制度で、9 月の第 3 月曜日となりました。ということ、9 月は大型連休（シルバーウィーク）となりました。

全国で 65 歳以上の老人が 4 人にひとりとなる高齢化社会。高齢者が健康で自立した生活を過ごせるよう、地域社会、家族の協力が必要になります。



高齢者になる前の皆さんが参集！